

アドミッションセンター報告書（第10号）の刊行にあたって

アドミッションセンター長 西郡 大

アドミッションセンターの活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。アドミッションセンターは、入学者選抜の企画・広報・実施等の業務を行い、佐賀大学の教育研究の充実発展に寄与することを目的として、2007年10月に発足しました。発足から11年がたち、皆様のご支援により活動が実績に結びついてまいりました。

2014年の高大接続答申以降、佐賀大学では、高大接続改革を「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の1つに据え、先進的な入試改革に取り組んでいます。まず、佐賀大学版CBTに関する事業は、昨年度に全国発の試みとして導入した「基礎学力・学習力テスト」に加え、教育学部の英語分野（スピーキングとリスニングの評価テスト）、理工学部の化学分野（実験動画の観察に基づく科学的な思考力を評価するためのテスト）、農学部の国際・地域マネジメントコース（動画を題材とした総合問題）というように、佐賀大学版CBTの本試験での導入は確実に広まりつつあります。次に、学力の3要素の1つである「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関わる側面を評価するための特色加点制度導入の事業では、インターネット出願と連動した書類審査の仕組みとして、「評価支援システム」を民間の教育機関と共同開発し、理工学部と農学部のAO入試Ⅱと一般入試において運用を開始しました。この仕組みも全国発の試みといえます。最後に、継続・育成型高大連携カリキュラムでは、「教師へのとびら」「科学へのとびら」「医療人へのとびら」「社会へのとびら」という4つのカリキュラムが実施され、中期計画の目標を達成することができました。来年度からは、「アートへのとびら（仮称）」も実施されることとなり、本学のすべての分野で高大接続教育プログラムが動き出す予定です。

今年度もアドミッションセンターでは、様々なアンケート調査の分析、入試・教務データを用いた追跡調査等を行い、アドミッションセンター報告書としてまとめました。これらの資料やデータは、各学部の入試制度の改善や学生確保戦略を検討したり、自己点検評価の根拠資料などに資するものと考えておりますのでぜひご活用ください。また、入試制度、追跡調査、入試広報、高大連携活動などについて改革や改善を進める際には、本センターまでご相談ください。

平成31年度も、皆様には、一層のご支援、ご助言を頂きます様、お願い致します。

平成31年3月

## 目 次

1. 平成 30 年度一般入試志願者動向に関する分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 平成 30 年度一般入試データの検証（合否入替り率と共分散比）・・・・・・・・・・12
3. 平成 30 年度学部新生アンケート調査分析結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
4. 平成 30 年度オープンキャンパス報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
5. 平成 30 年度ジョイントセミナー参加者アンケート分析結果・・・・・・・・・・111
6. 平成 26 年度入学者の追跡調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・137
7. 佐賀大学の広報活動に関する調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・146
8. 平成 30 年度高等学校対象広報活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・150
9. 平成 30 年度高校教員対象の入試説明会実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・168
10. 大学入試研究ジャーナル掲載論文・・・・・・・・・・・・・・・・・・174
11. アドミッションセンター専任教員活動実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・187
12. 平成 30 年度アドミッションセンター業務実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・199
13. 平成 29 年度自己点検・評価書・・・・・・・・・・・・・・・・・・212